在宅医療・介護連携に関するアンケート調査結果

調査期間： 令和４年12月13日（火）～令和４年12月28日（水）

調査対象： 海南市及び紀美野町内の医療機関及び介護事業所の従事者

調査方法： インターネットのアンケートフォームを使用した調査

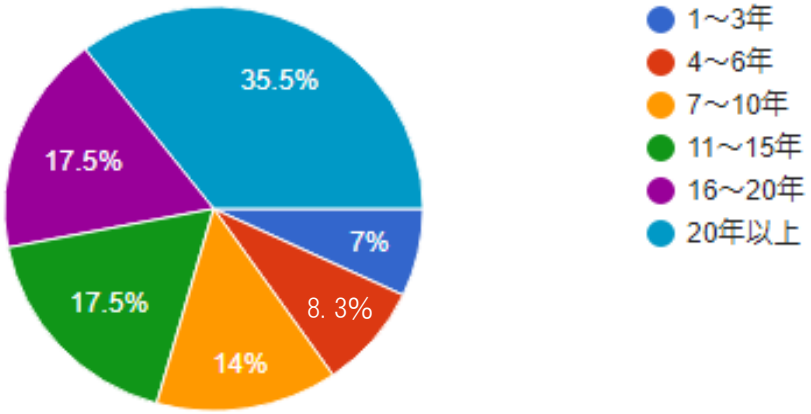
回答者数： 228人

【回答者の内訳】

職種	人数
医師（病院）	8
医師(診療所)	13
歯科医師	2
薬剤師	7
理学療法士	17
作業療法士	5
言語聴覚士	4
保健師	10
病院看護師	56
施設看護師	6
訪問看護師	11
ケアマネジャー（医療系）	6
ケアマネジャー（介護系）	34
管理栄養士・栄養士	3
社会福祉士	7
介護福祉士	24
精神保健福祉士	0
歯科衛生士	0
その他	11
無回答	4
合計	228

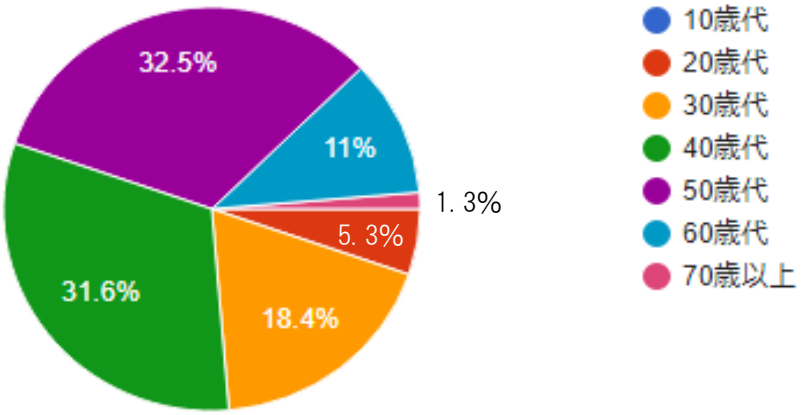
主に従事している職種の経験年数をお伺いします

228 件の回答



年代についてお伺いします

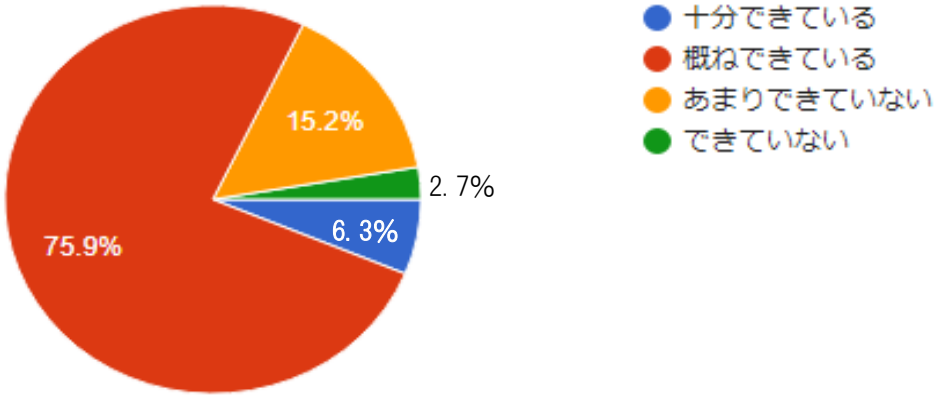
228 件の回答



【在宅医療・介護連携に関する事について伺います】

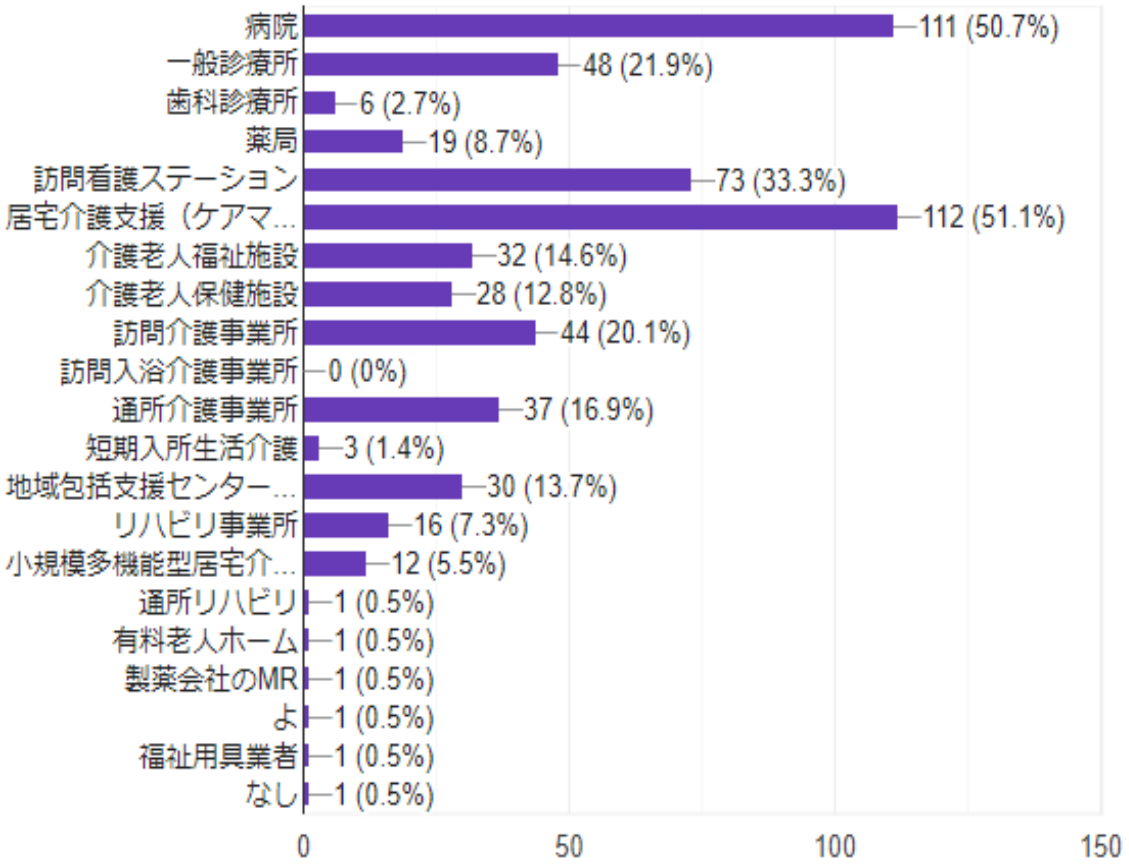
質問1　現在、他の事業所との連携はできていますか？

224 件の回答



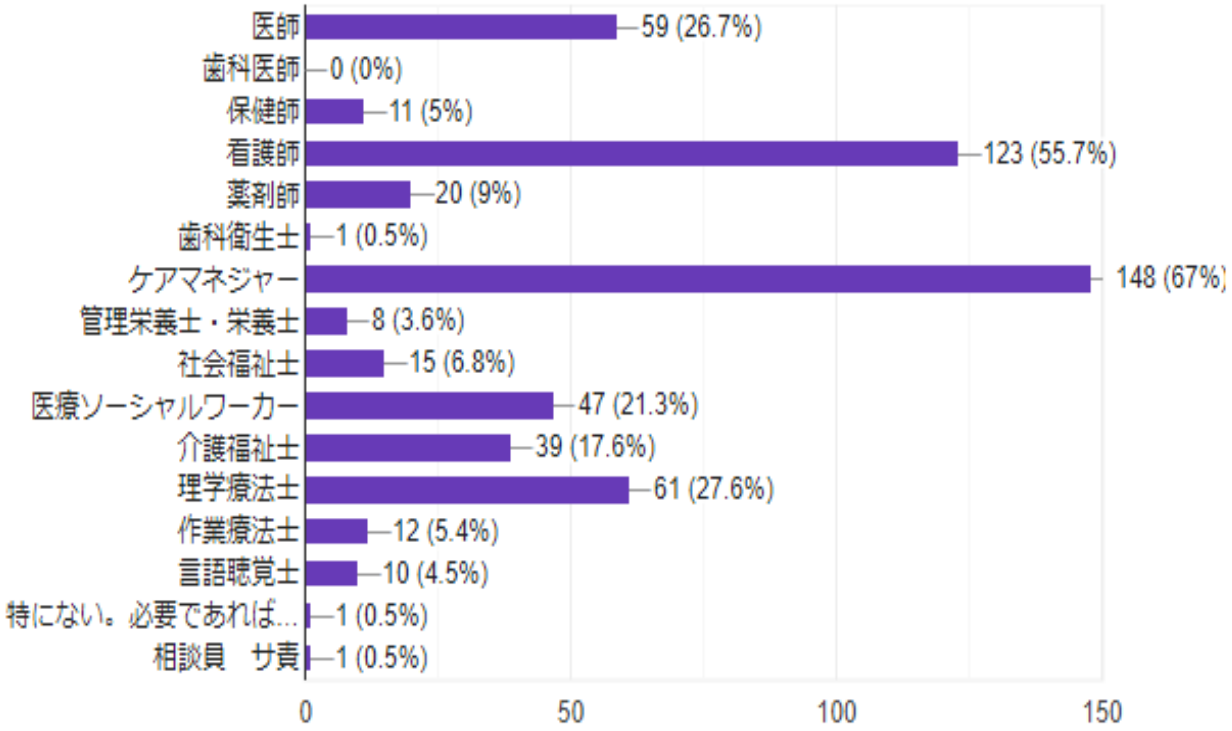
質問2　現在、よく連携している事業所は？**（最大3つまで）**

219 件の回答



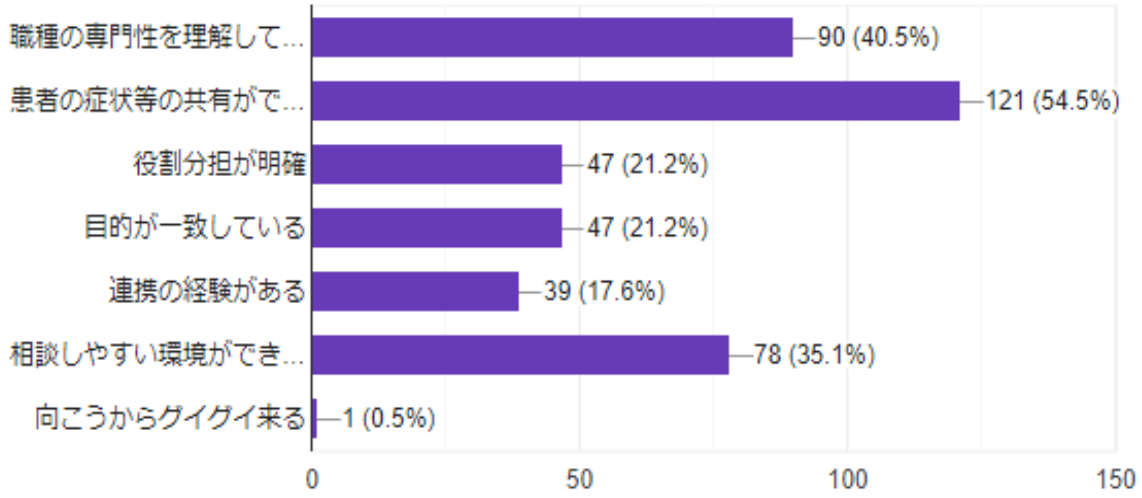
質問3　連携をとりやすい職種は？**（最大3つまで）**

221 件の回答



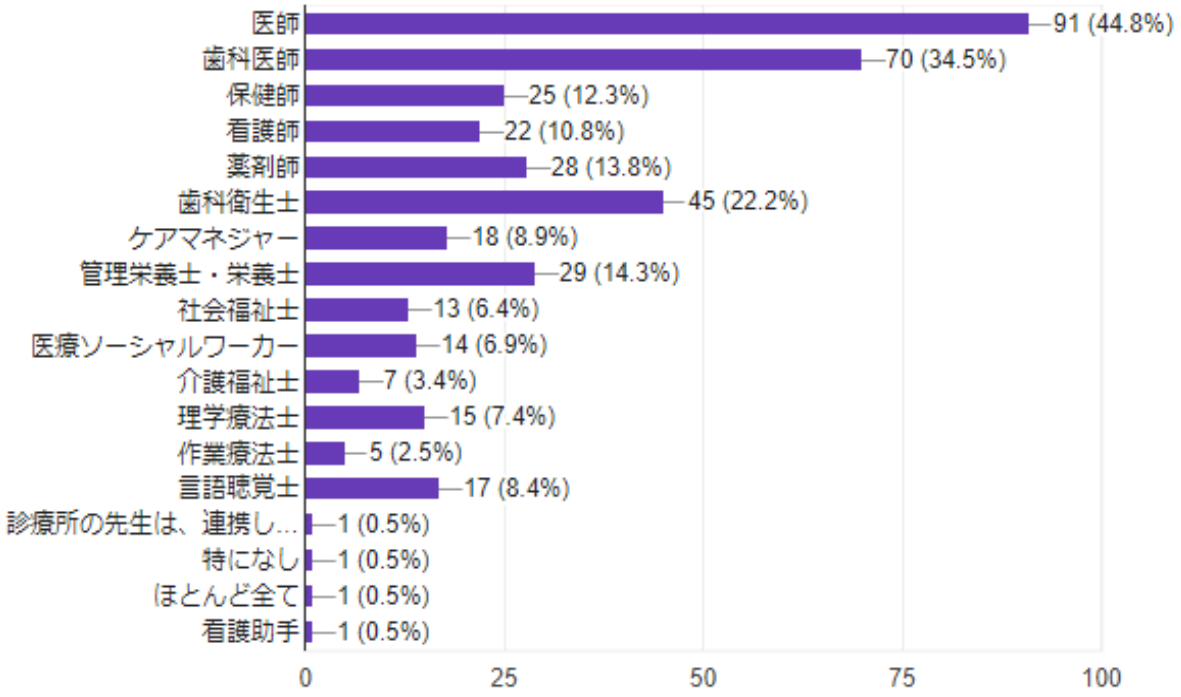
質問4　連携をとりやすい理由は？**(最大2つまで)**

222 件の回答



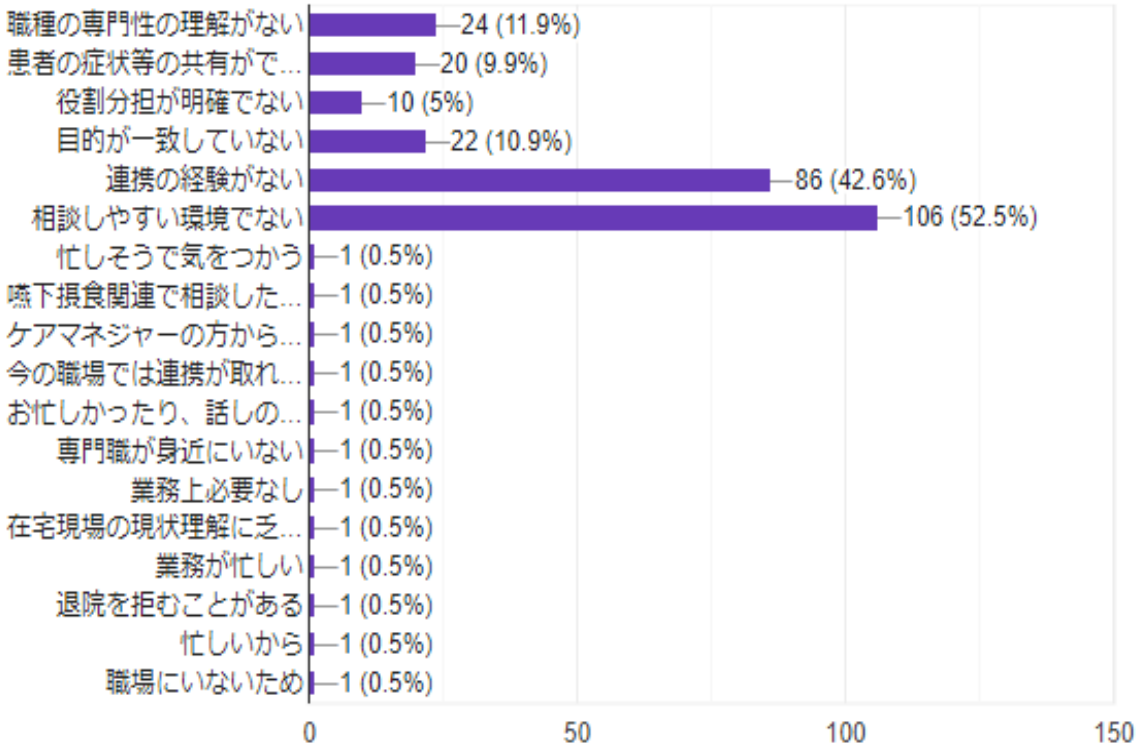
質問5　連携をとりにくい職種は？**(最大3つまで)**

203 件の回答



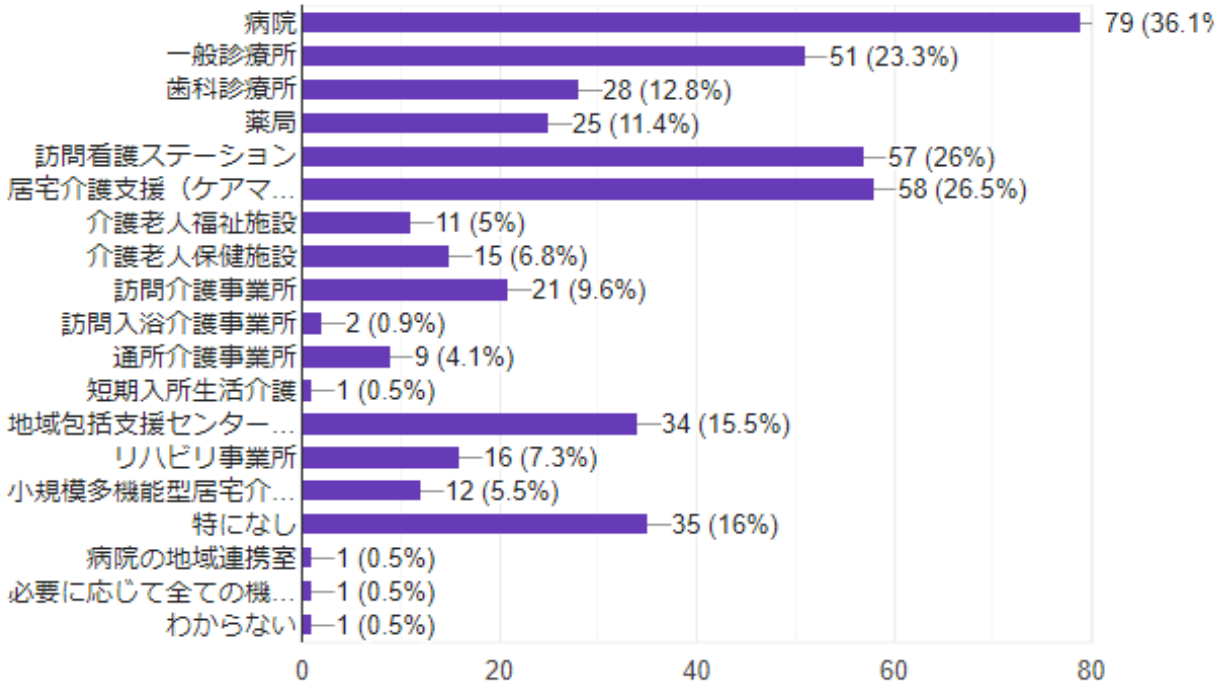
質問6　連携をとりにくい理由は？**(最大2つまで)**

202 件の回答



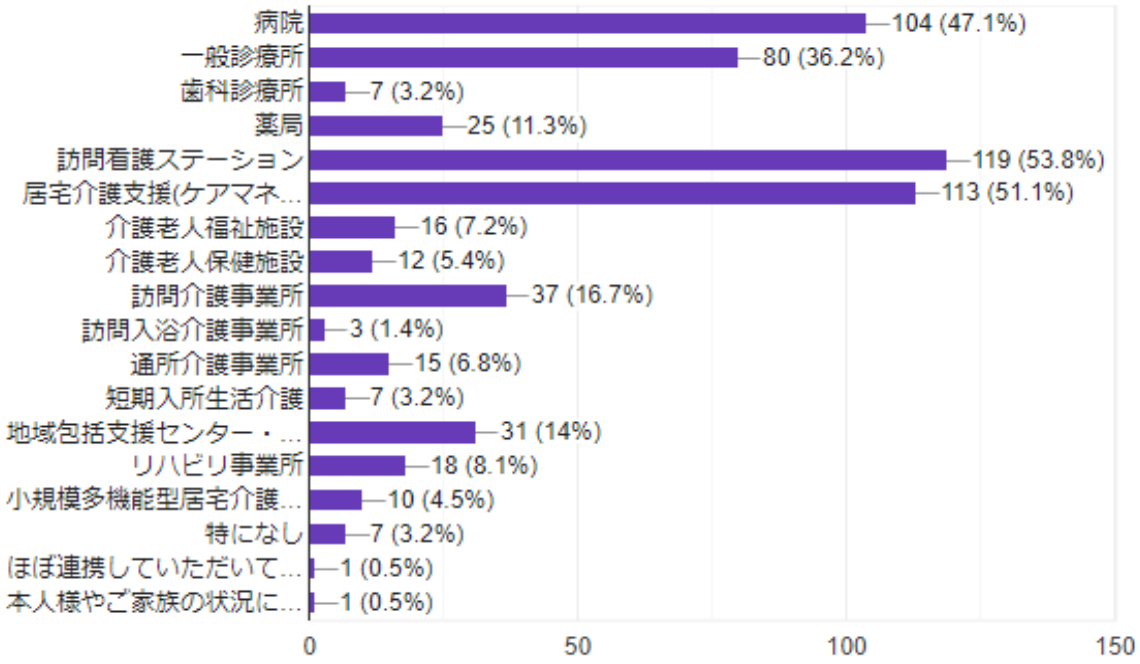
質問7　今後、連携したい事業所は？**(最大3つまで)**

219 件の回答



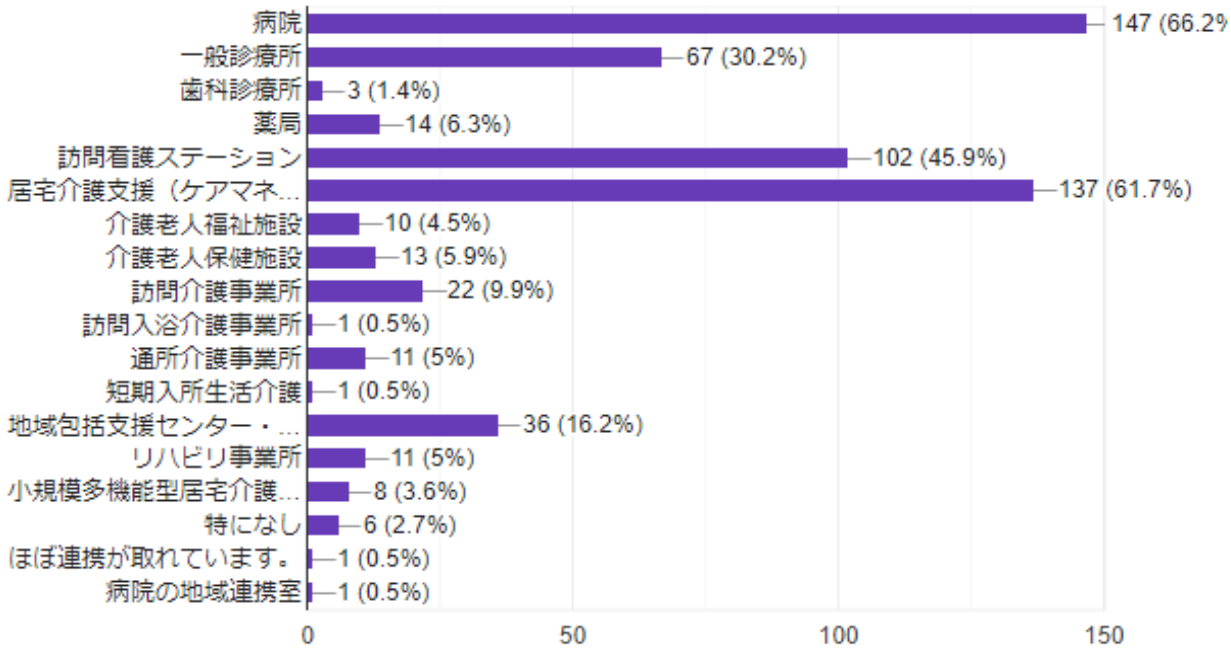
質問8　日常生活の療養支援の時に、連携が必要だと思う関係機関や事業所は？　**(最大3つまで)**

221 件の回答



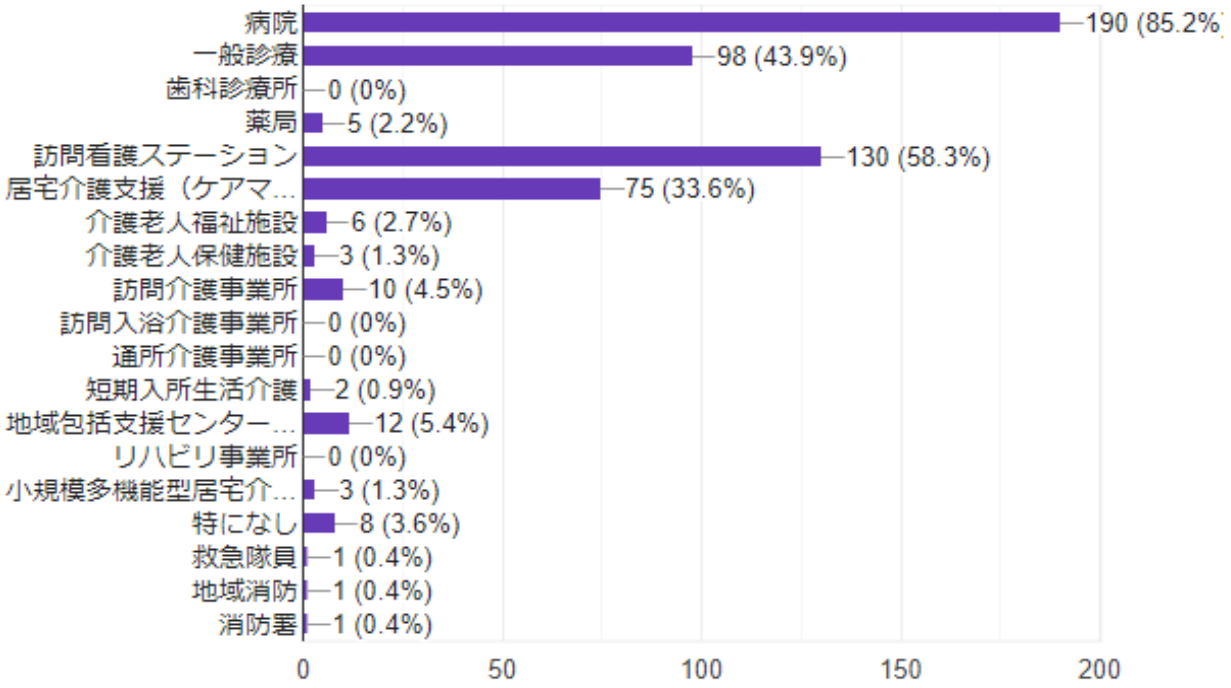
質問9　入退院支援の時に、連携が必要だと思う関係機関や事業所は？
（最大3つまで）

222 件の回答



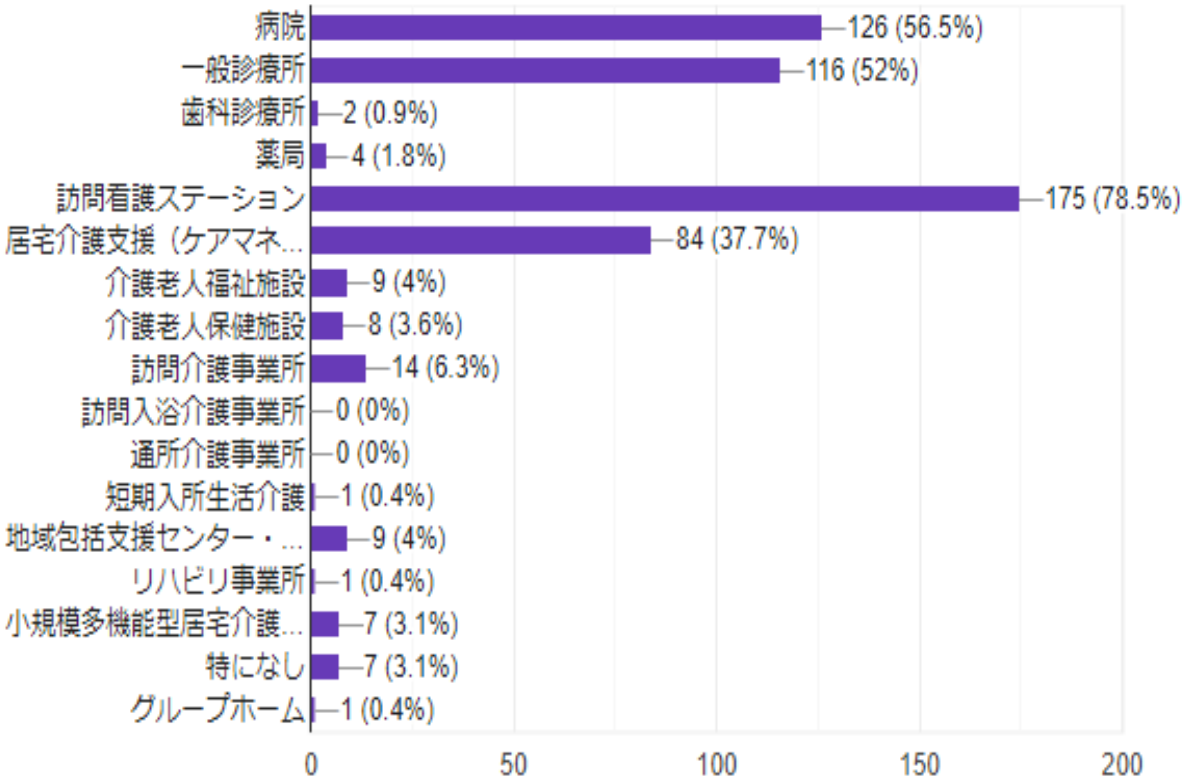
質問10　急変時の対応の時に、連携が必要だと思う関係機関や事業所は？**（最大3つまで）**

223 件の回答



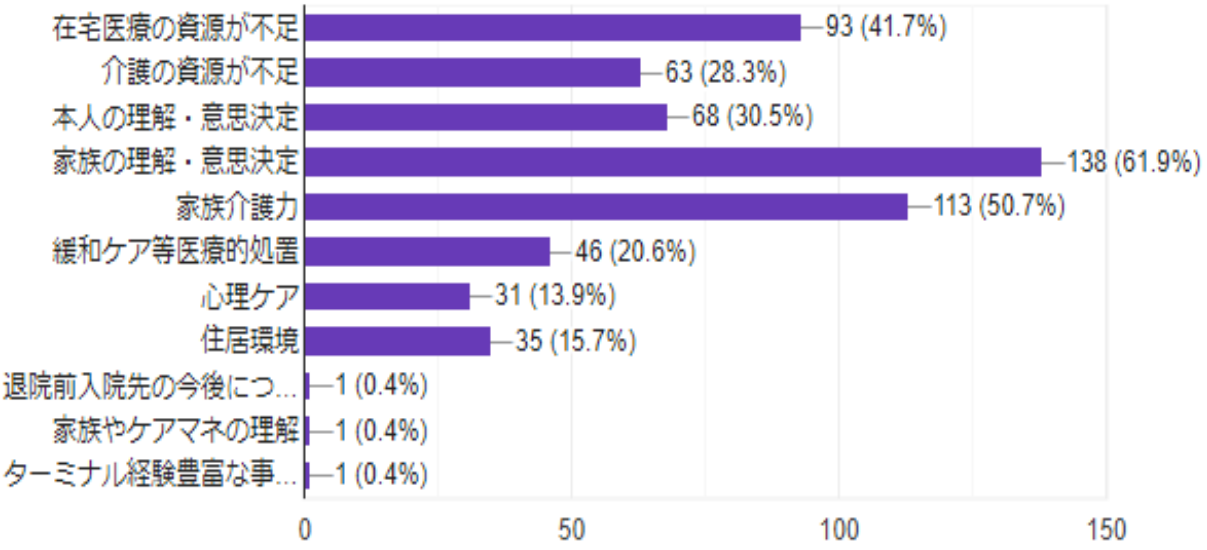
質問11　看取りの時に、連携が必要だと思う関係機関や事業所は？**（最大3つまで）**

223 件の回答



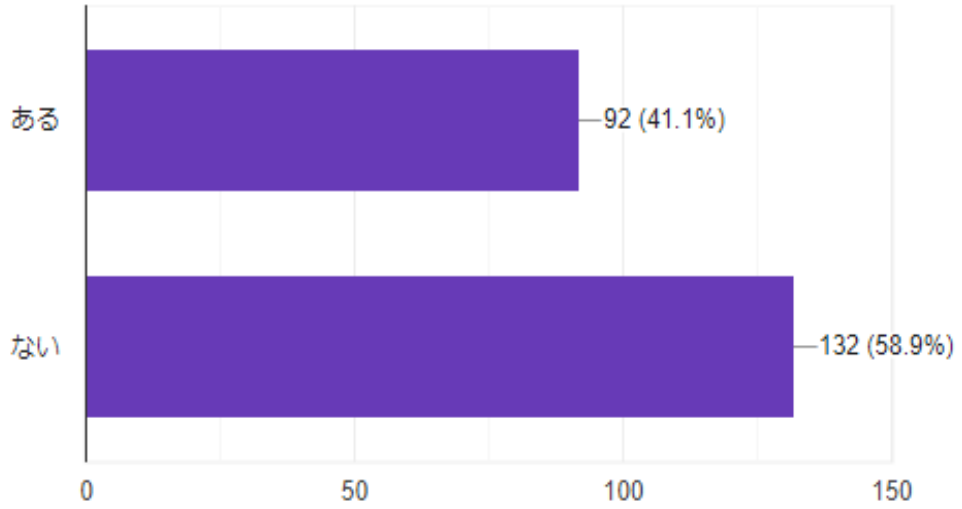
質問12　地域の看取りにおいての課題は？**（最大3つまで）**

223 件の回答



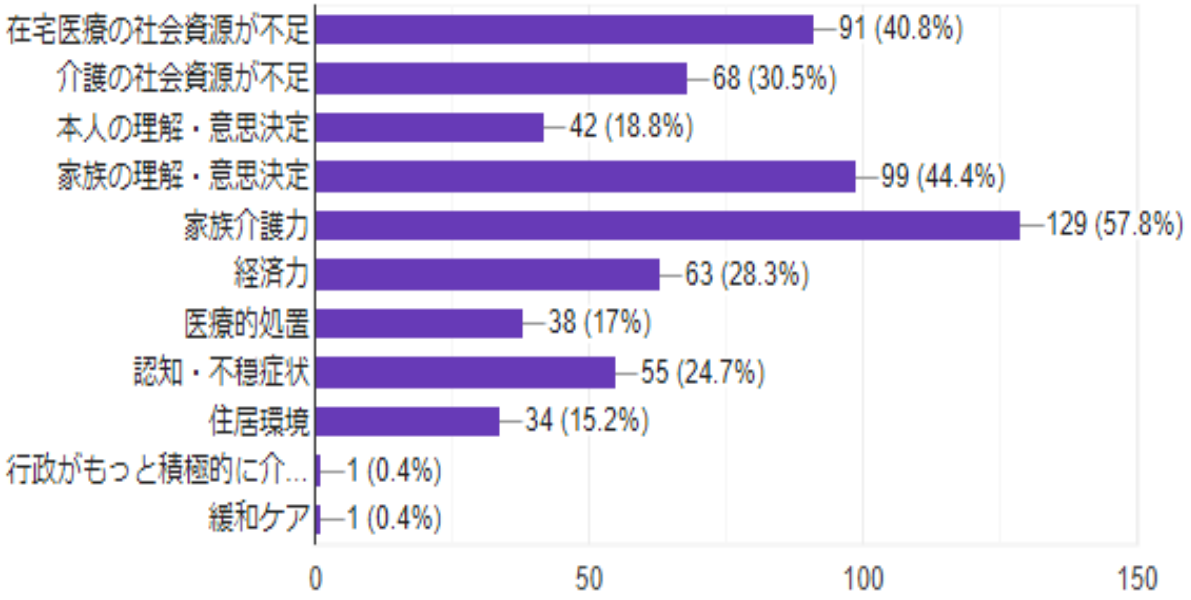
質問13　人生最終段階における意思決定支援について、本人や家族、多職種と人生会議をしたことは？

224 件の回答



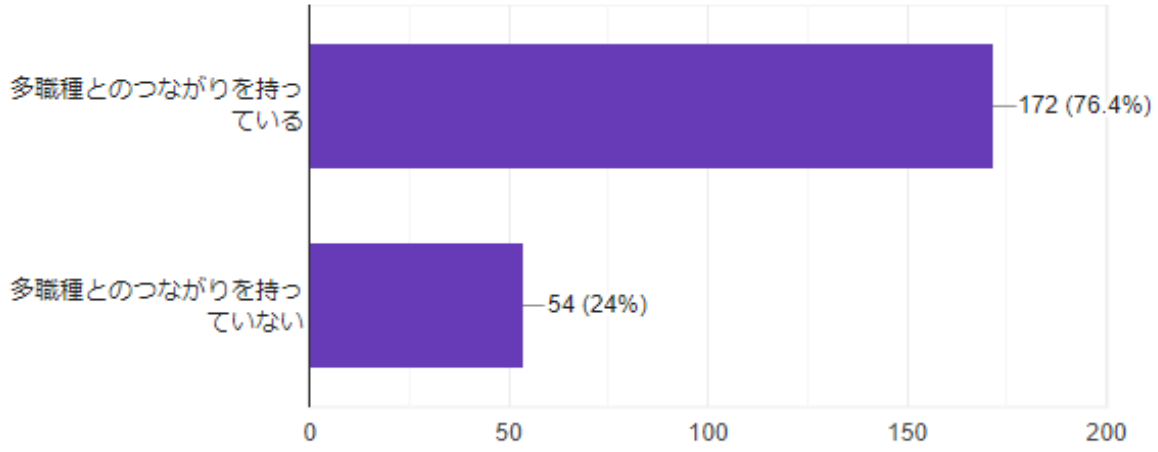
質問14　地域での在宅療養を継続するために苦慮する課題は？**（最大3つまで）**

223 件の回答



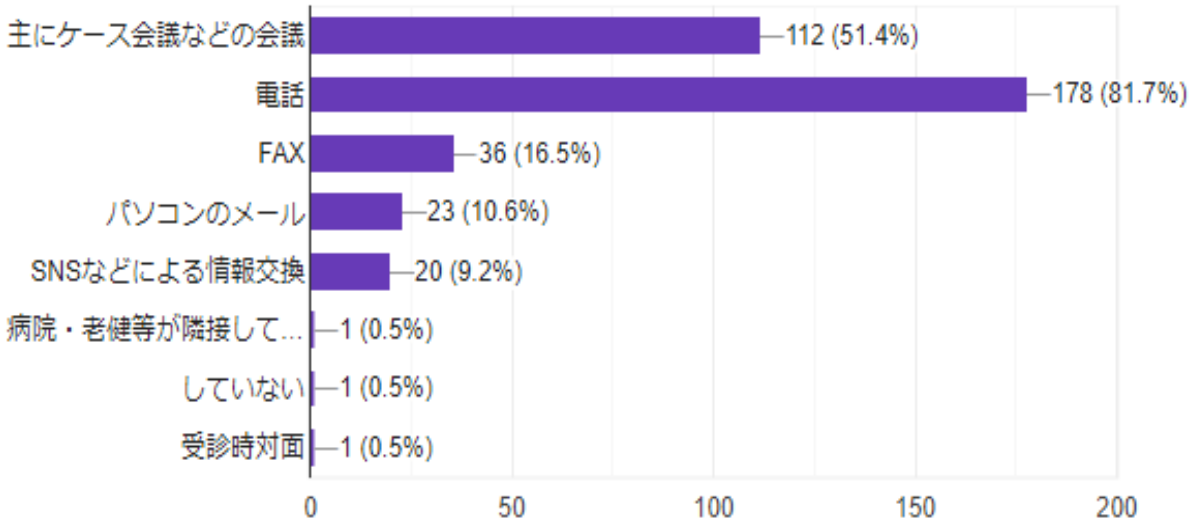
【地域の中の多職種とのつながりに関することについて伺います】
質問15　地域の中に相談できる多職種とのつながりをもっていますか？**（同職種のみのものを除きます）**

225 件の回答



質問16　現在、関係機関や事業所との情報共有の手段は？**（最大2つまで）**

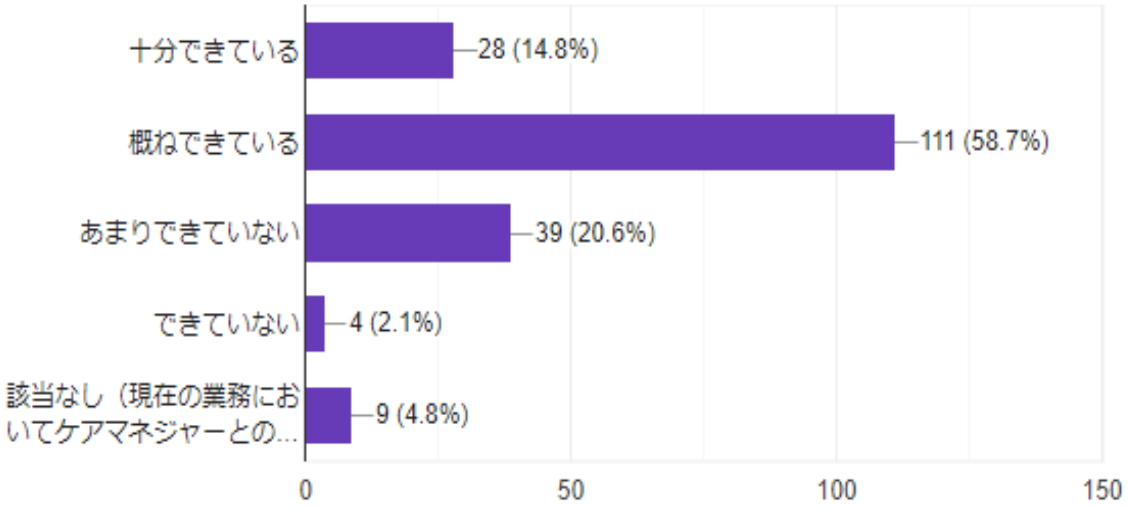
218 件の回答



【ケアマネジャーとの連携に関することについてうかがいます】**（ケアマネジャーは回答しなくて結構です）**

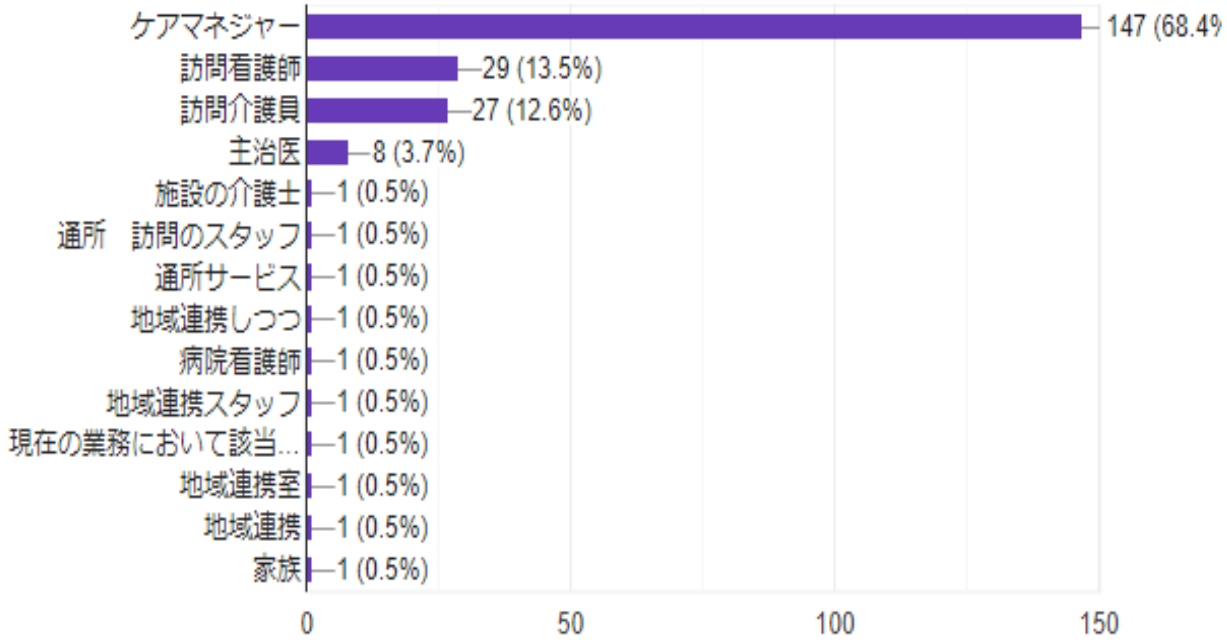
質問17　必要に応じてケアマネジャーと連携はできていますか？

189 件の回答



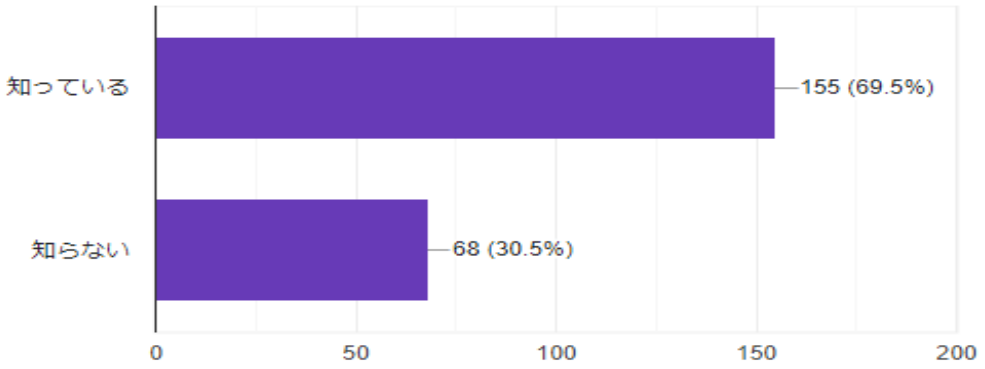
質問18　利用者（患者）の生活状況について家族以外の誰から**最も**情報を得ていますか？**（一つを選択）**

215 件の回答



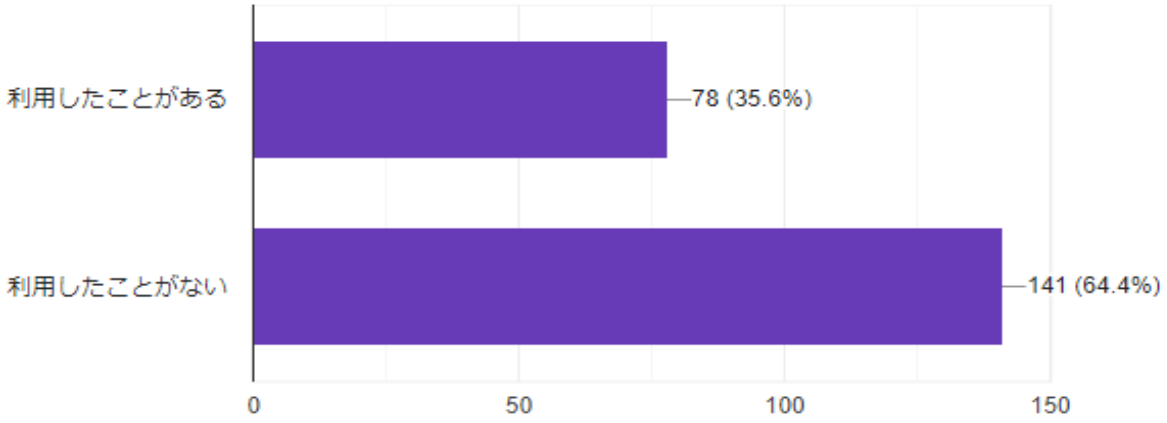
【相談支援に関することについて伺います】
質問19　海南海草在宅医療・介護連携サポートセンターを知っていますか？

223 件の回答



質問20-1　海南海草在宅医療・介護連携サポートセンターを利用したことはありますか？

219 件の回答



質問20-2
「（サポートセンターを）利用したことがない」と答えた方の理由

・利用する機会がない・必要性を感じない	35名
・知らないから	16名
・何を相談していいのか分からない、事業内容が不明	11名
・他に相談するところがある、相談しなくても解決できる	9名
・理由は特になし	4名
・サポートセンターに勤務している、サポートセンターの職員が近くにいる	2名
・今後利用してみたい	1名
・利用しているかが分からない	1名
・連携室か法人職員かの立場が明確でない	1名

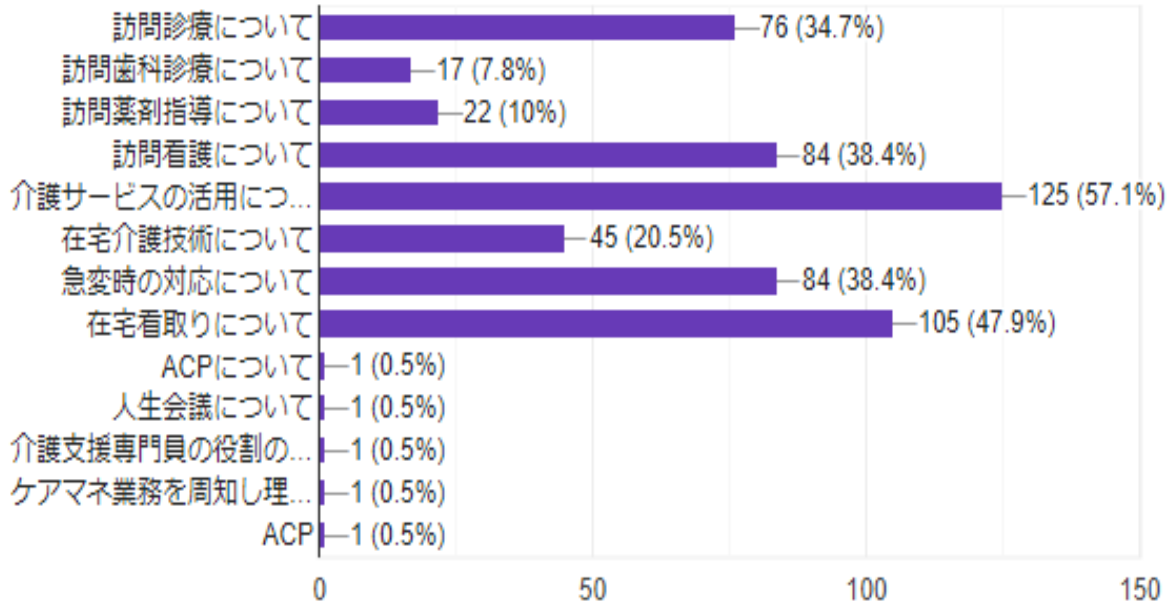
質問21
医療と介護の連携に関して今後どのような研修を希望しますか？

・医療と介護の連携について	13名
・看取り、人生会議（ACP）、ターミナルケア、グリーフケア 様々な看取りのケース等について	10名
・急変時に対応、疾患別の緊急時・前兆について	6名
・認知症ケア（ユマニチュード）	3名
・在宅ケアについて	2名
・排泄ケア（pooマスター養成研修）	1名
・他職種より薬局に望むこと	1名
・障害や社会資源をおりまぜた事例	1名
・入退院支援について	1名
・介護士のできる処置、喀痰吸引手技について	1名
・情報共有方法について	1名
・訪問看護について	1名
・地域特性を踏まえた具体的な研修	1名
・症例検討	1名
・地域包括ケア	1名
・居宅療養管理指導	1名
・嚥下についての研修	1名

【啓発について伺います】

質問22　住民への周知について必要なことは？**（最大3つまで）**

219 件の回答



質問23
医療と介護の連携に関して今後充実してほしい施策や、連携について日頃感じていることなどがありましたらご自由にお書きください。

≪研修会について≫
医師、看護師など医療職に在宅医療の研修
介護職に医療の知識の研修
介護保険についての研修

≪退院調整について≫
退院調整のコツ（在宅復帰のための必要な項目や要点をまとめてほしい）
退院支援をする時はもっとその人の環境や人生観を受入れ支援してほしい。
入院で認知機能の低下やADLの低下でもまずは自宅に帰ることを検討してほしい。
吸引や嚥下障害に問題がある患者などに対する指導

≪在宅医療、介護が普及するために≫
訪問診療医や訪問看護の充実
薬剤師による、在宅訪問薬剤指導の周知
各職種の個々のレベルアップ
在宅での介護サービスの不足
ケアマネジャーの能力の向上
病院と介護施設が在宅サービスと連携
夜間、休日の病院との連携体制の強化と幅広く診てもらえる診療体制

≪多職種の連携について≫
介護と医療がスムーズな連携ができるシステムの構築
・多職種間の連絡方法
・退院カンファレンスのオンライン化
・医療介護用SNSの統一（MCSなど）
・多職種での急変時対応の周知の徹底
・ケアマネジャーに本人、家族の真意を聞き出してほしい
・退院支援時正確な情報の伝達
・職種ごとの役割の統一
・医療と介護のお互いの得意分野を生かした情報の共有
・多職種内でサービス提供時の注意点等理解し合える関係作り
・連携室の関与で入退院の連携がスムーズに行えるようになったと思う
・医師、看護師への相談と即座に対応、指示をもらえ安心している
・訪問看護事業所との連携方法
・ケアマネジャーはどのようなケアプランを作成している知りたい
・介護に移行してからの生活
・リモートではなく話し合える機会の増加
・医療と介護の現状の情報共有

≪その他≫
貧困家庭を支援する体制
費用の高騰への支援
看取り期の要介護認定の決定期間を素早くしてほしい。